

## 事業報告

(2021年1月1日から2021年12月31日まで)

当連結会計年度（2021年1月1日～2021年12月31日）における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動抑制の影響を引き続き受けることとなりました。段階的に経済活動が再開されているものの、景気回復への影響は限定的で、足元での変異株による感染拡大の影響もあり未だ先行きは不透明な状況にあります。当社企業グループにおいても主に直営ホテルについて打撃を受ける結果となりました。

国内におけるオフィスビル賃貸市場については、東京都心5区における2021年12月末時点の平均空室率は6.33%と、前年同月比1.84ポイント上昇しました。また、同エリアの同時点における平均賃料は20,596円/坪と、2020年8月から17カ月連続で下がりました。（三鬼商事調べ）。

このような状況の中、当連結会計年度も引き続きコンサルティング案件数及び不動産預り資産残高の増加に向けて取り組みました。収益力向上のための大規模改修工事を引き続き複数件実施したことにより、売上原価は増加傾向となっております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高 20,076,228 千円（前期比 7.8%増）、営業利益 1,145,161 千円（前期比 9.5%減）、経常利益 522,377 千円（前期比 24.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益 183,546 千円（前期比 53.0%減）となりました。